|  |
| --- |
| **全道老人福祉施設研究大会（第４３回老人福祉施設研究発表会）**  **研究発表募集要領（一般募集）** |

１．目　的　　道内の老人福祉施設において、総合的・実践的におこなわれている諸研究活動について、広く関係者が集い研究・討議することにより、高齢者福祉の向上と職員の意識の高揚を図ることを目的として実施します。

２．開催日　　令和６年９月１１日（水）～１２日（木）

　　　　９月１１日（水）１２：００～受付

１３：００～研究大会（全国老施協感謝表彰、全国老施協基調報告、講演）

　　　　　　　　 　　　　　　　１６：２０～臨時総会　 １７：３０～懇親会　※随時、発表者はデータ確認作業を行う

９月１２日（木）　９：００～発表者打合せ

９：３０～発表会（１発表１５分質疑５分）

１５：３０～優秀賞発表

　　　　　　　　※上記のうち、２日目発表会の開催時間は目安であり、発表者数により前後します。

３．会　場　　札幌プリンスホテル　国際館パミール

（札幌市中央区南３条１２丁目　プリンスホテルタワー西隣のブロック）

４．開催方法　　会場への参集

（当日の内容を録画した動画配信（オンデマンド配信）も実施する予定です）

５．発表方法　　発表者は上記会場で発表いただきます。（オンラインでの発表は不可）

６．発表者　　老人福祉施設、デイサービスセンター、老人保健施設等に勤務する職員

７．発表時間　　２０分（発表１５分＋質疑５分）

８．発表数　　２又は３つの分科会を設定し、各分科会につき最大１０発表を予定しています。

９．発表順番、テーマ分けについて

発表順番やテーマの区分は、応募のあった発表内容に基づき、①認知症対応/医療・介護連携看取り、②自立支援（リハ・機能訓練、口腔、栄養）、③経営、④人材確保・育成・定着、⑤在宅・デイ、⑥軽費・ケア、⑦養護の７つにテーマ分けを行い、発表順番(タイムテーブル)を調整します。

10．応　募　　同一施設内でも様々な取り組みがあることから１つの施設より複数の発表の応募も受け付けます。なお、応募多数で発表をお断りする場合には当方からご連絡致します。

11．提出物　**(１)「実践発表応募用紙」及び「発表抄録」**

　　　　　添付した様式を用いて、[roushikyo@dosyakyo.or.jp](mailto:roushikyo@dosyakyo.or.jp)あてに送信してください。

　　　　　　　なお、事務局にて体裁を整えるため、PDFには変換せずに送信してください。

**(２)「当日映写用データ」及び「ノート印刷用データ」**

　　　　　　　①当日映写用データ

文字原稿（ワードファイル）であればＡ４判（１行４０文字×４５行程度）横書きにて５ページ以内（資料等を含む）、パワーポイントについては３０スライド以内（厳守）と致します。パワーポイントのバージョンは、office2016（win）です。これ以降のバージョンで作成したスライドは、アニメーション効果等が十分に発揮できない場合がありますので、データ作成時にご留意下さい。

②ノート印刷用データ

視聴者の手元資料ノートを作成するのでノート掲載用の原稿を作成して下さい。

⇒“PDFデータ”でノート用原稿を作成して下さい。パワーポイントスライドの場合には、印刷用に表示内容を整理した後、PDFに変換してください。ノート用PDFも３０スライド以下（厳守）と致します。なお、１ページ６スライド＝最大５ページ（紙は縦）で印刷しますので、文字の大きさに注意して下さい。

12．データ提出締切日

　　　（１）「実践発表応募用紙（Wordファイル）」及び「発表抄録（エクセルファイル）」

令和６年７月１２日（金）【厳守】

（２）「当日映写用のデータ（パワーポイントなど）」及び「ノート印刷用データ（PDF）」

令和６年８月２０日（火）【厳守】

※当日配布用ノートの作成が間に合わなくなりますので特に期限厳守をお願いします。

13．その他　下記評価項目にて採点を行い、最優秀賞、優秀賞を選定し、即日発表いたします。

なお上記受賞者は全国老人福祉施設大会研究会議の発表者として推薦することがあります。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 内　容 |
| 評価項目 | 取り組みにおける問題意識が明確である。 |
| 抄録原稿に取り組みと関係の深いキーワードが記載されており、内容の把握が参加者にとって容易である。 |
| 当日発表資料で箇条書きやグラフがうまく使われ、参加者が理解しやすいよう工夫がなされている。 |
| 抄録原稿と当日発表資料の説明が統一されており、参加者にとって見易い。 |
| 発表態度(声の大きさ、身振り手振り、目配り)が参加者にわかりやすく、ポイントを押さえた簡潔な話である。 |
| 会場内の質疑等に対し、適切に応答できている。 |
| 参加者が自分の施設に持ち帰り、実践したいと思わせる発表内容である。 |
| 施設・事業所の規模等に左右されず、発表内容を実践することが可能である。 |

14．問い合せ、応募先

事務局（北海道社会福祉協議会　施設福祉課内）【担当：宮川/前田】

　　　〒060-0002　札幌市中央区北2条西7丁目1番地　かでる2.7　3階

　　　TEL：011-241-3766／E-mail：roushikyo@dosyakyo.or.jp